

日本語

Français

Deutsch

Nederlands

Español

Italiano

# Raymarine®

A FLIR COMPANY

## リモートディスプレイ クイックスタートガイド

FLIR | Raymarine



Raymarine 製品が気になったら /

 [www.ys-product.com](http://www.ys-product.com) で検索

FLIR | Raymarine



製品トラブル /  
**困ったら**  
その場で相談



 <http://nav.cx/asgVtLM>



本製品を弊社イエローシップ・プロモーションで  
ご購入された方のみご利用可能です。

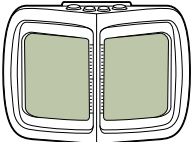
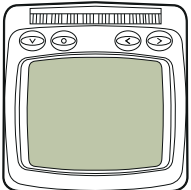
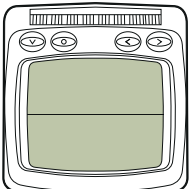
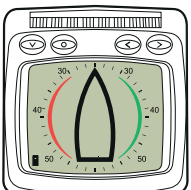

## 6.2 自動ネットワーク設定

Micronet ワイヤレス製品は、自動ネットワーク設定手順を使用して一緒にネットワーク設定されています。

自動ネットワーク設定は、有効範囲内の互換性のあるワイヤレス製品を同じ Micronet ネットワークに接続します。

### 自動ネットワーク設定 – 互換性のある Micronet ディスプレイ

自動ネットワーク設定は、以下に示す互換性のある Micronet ディスプレイの1つを使用して開始できます。

製品	説明
	T070 レース用マスターディスプレイ
	T110 多機能ワイヤレスディスプレイ
	T111 多機能ワイヤレスデュアルディスプレイ
	T112 多機能ワイヤレスアナログディスプレイ
	T113 多機能ワイヤレスリモートディスプレイ

### 自動ネットワーク設定の実行

下の手順に従って、新しいMicronet製品を既存のシステムに追加するか、複数のボックスから新しいシステムを作成します。

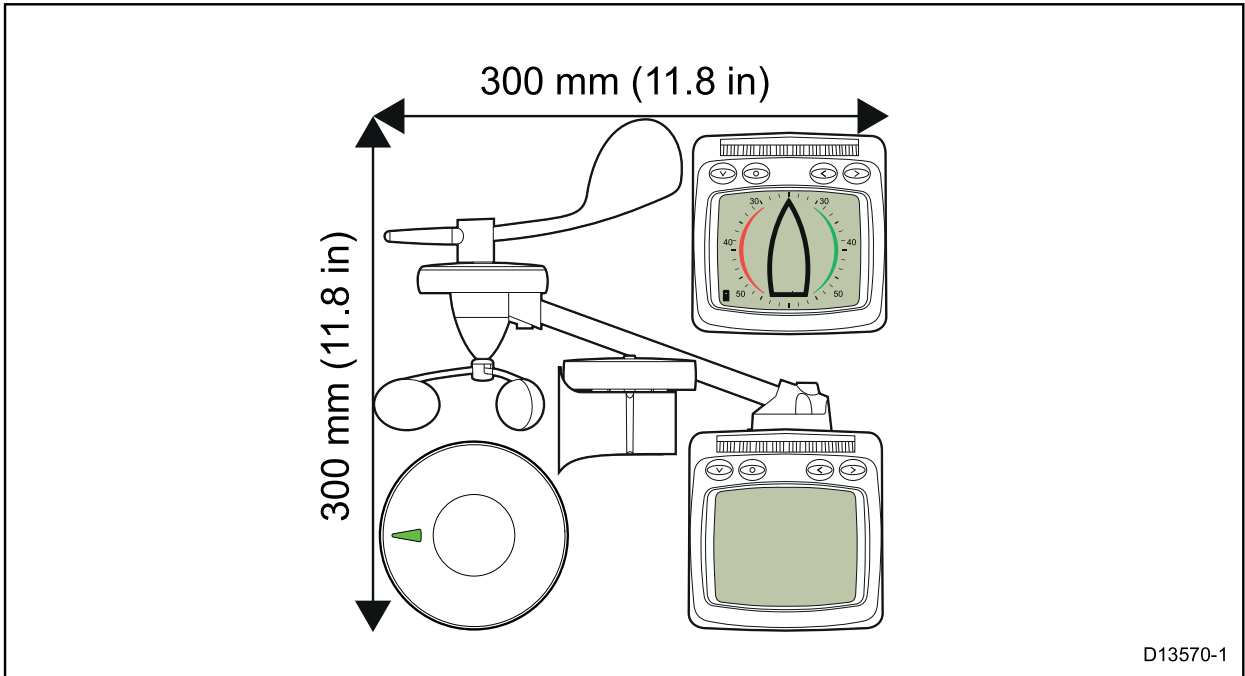
#### 注意:

- 自動ネットワーク設定は、新しい製品を設置する前に実行してください。
- 1つの箱で提供された製品を使用して新しいシステムを作成する場合は、次の手順は必要ありません。
- 自動ネットワーク設定を開始できるディスプレイを選択する必要があります。

- 既存のシステムがある場合は、このシステムから対応可能なディスプレイを選択してください。

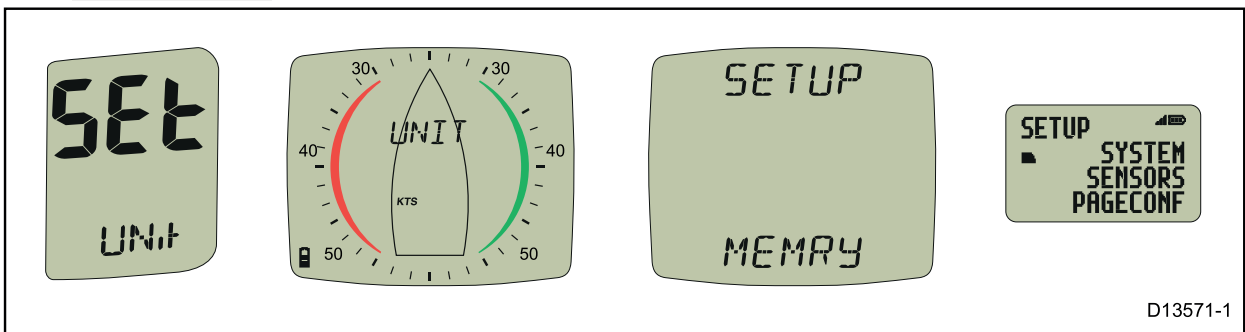
- 外部電源ソースを必要とする製品を12 V DC 電源に接続します。
- すべての新製品を自動ネットワーク設定を行うために選択したディスプレイの300 mm (11.8 インチ)以内の場所に置きます。

ネットワーク接続されている既存の製品を含める必要はありません。



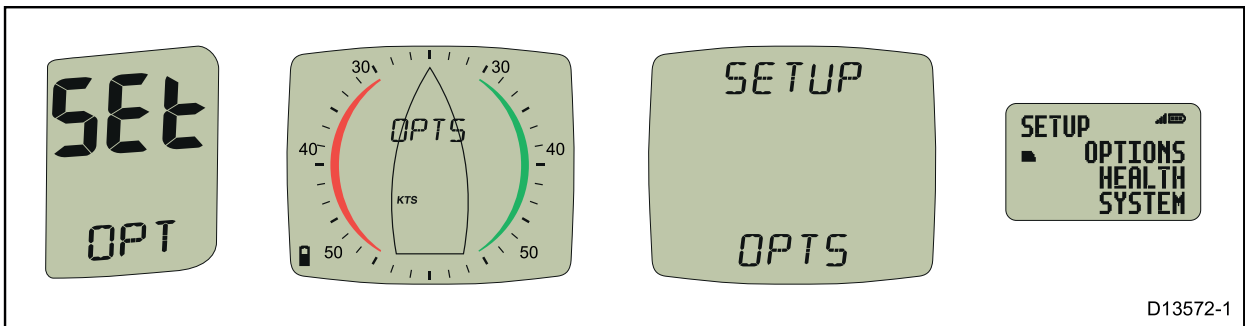
D13570-1

- すべての製品の電源が切れていることを確認します。
- 選択したディスプレイの **▼** 下/電源ボタンを2秒間長押しして、電源を入れます。
- 選択したディスプレイに「レーザー用タイマー」または「風の変化」ページが表示されていないことを確認します。
- [セットアップ]ボタンを2秒間押すと、[セットアップ]メニューが表示されます。



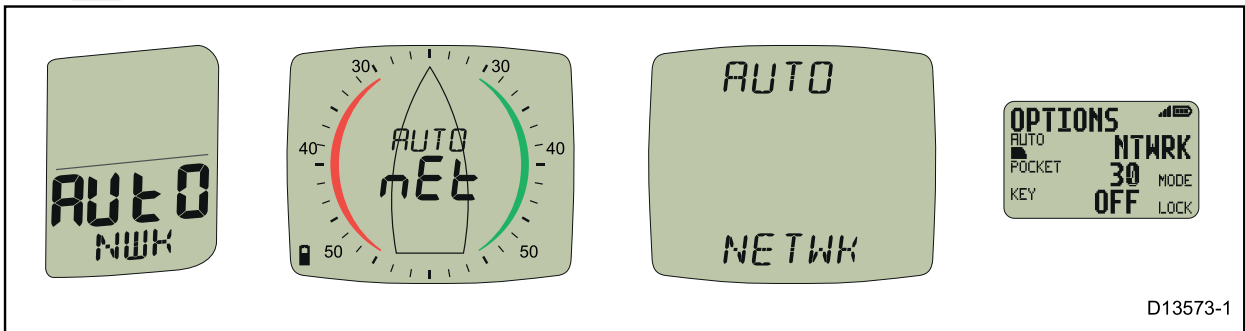
D13571-1

- [オプション]ページが表示されるまで、**▼** [下/電源]ボタンを押します。

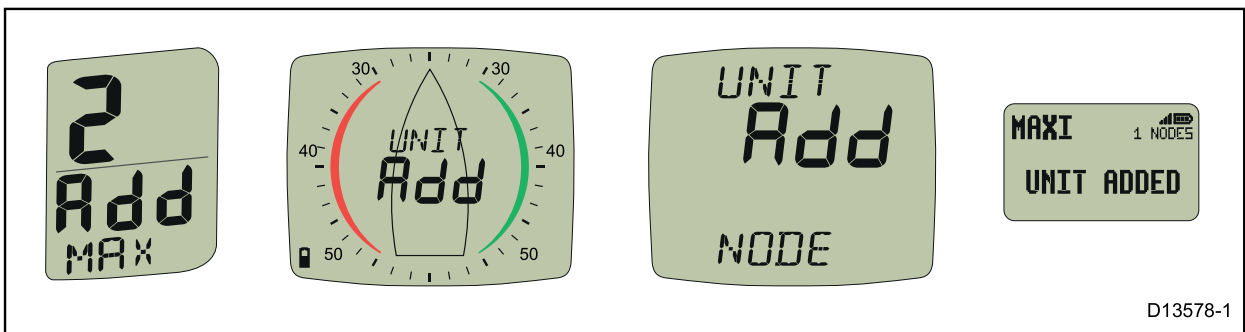


D13572-1

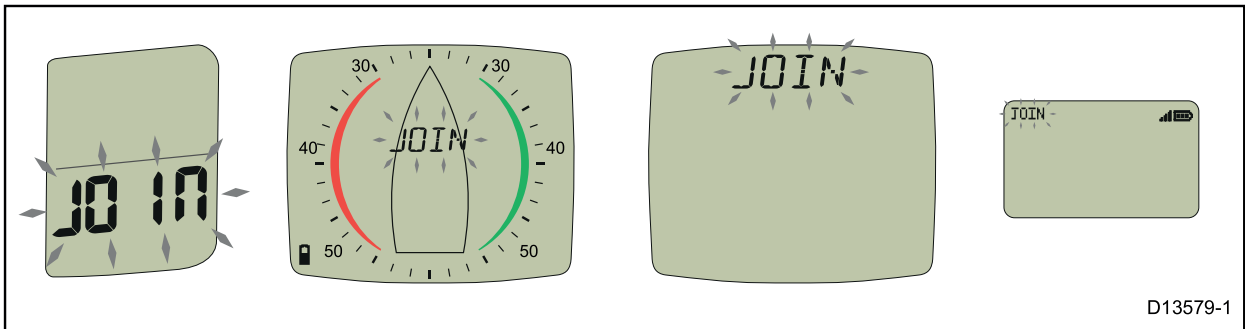
8. [右] ボタンを押すと、[自動ネットワーク設定] ページが表示されます。



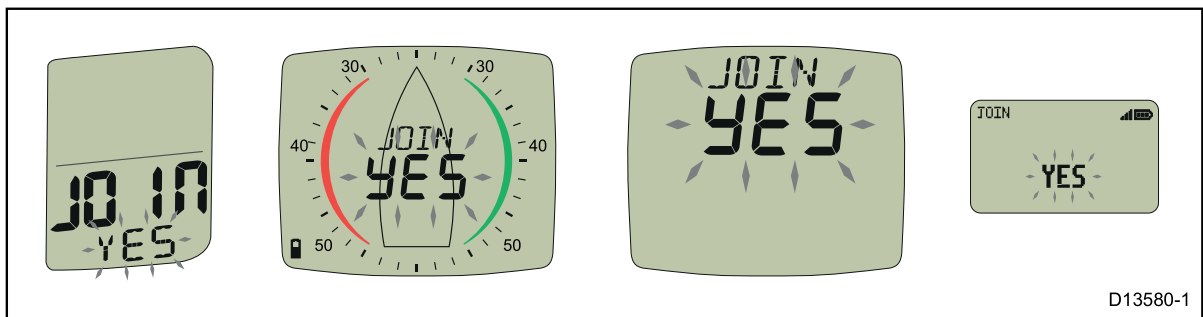
9. [セットアップ] ボタンを押すと、自動ネットワーク設定手順が開始されます。カウントダウンが始まり、選択したディスプレイに「WAIT(待機)」、さらにデバイスがネットワークに加わると「JOIN(参加)」と表示されます。



10. カウントダウンの最後の30秒で、デバイスによってはスイッチがオンになり、画面上に「JOIN(参加)」が点滅する場合があります。これらのディスプレイをネットワークに加えるには、下の手順に従います。



- i. 「JOIN(参加)」というメッセージが画面で点滅しているディスプレイの任意のボタンを押します。ディスプレイに「JOIN YES(参加 はい)」と表示されます。



- ii. 同じディスプレイの任意のボタンを押して確定します。ディスプレイの表示が「DONE(完了)」になります。

25秒以内に確定を完了しないと、「FAIL(失敗)」と表示されます。このメッセージが表示された場合、ディスプレイはネットワークに加えられなかったことを意味します。

カウントダウンが完了すると、選択したディスプレイは自動ネットワーク設定ページに戻ります。[セットアップ] ボタンを2秒間押したままにすると、通常の操作に戻ります。

11. システムをテストします。
  - i. 選択したディスプレイのスイッチを切ります。
  - ii. 選択したディスプレイのスイッチを入れます。

電源の入らないユニットがある場合は、新しいすべてのユニットが選択したディスプレイの 300 mm (11.8 インチ)以内にあり、必要に応じて電源に接続されていることを確認します。
12. すべてのユニットがネットワークに加わるまで、上記手順を繰り返します。
13. 古いユニットを交換する場合は、船舶から取り外します。
14. すべてのユニットが正しく機能していることを確認してから取り付けてください。

### **Micronetの製品識別**

Micro-Talk ゲートウェイは、自動ネットワーク設定プロセスの間、Micronetディスプレイの正常性確認ページを表示しているときとは別な方法で識別されます。

自動ネットワーク設定時、ゲートウェイは NMEA 2000 デバイス (例: 2000、N2000、または N 2000)として識別されます。

Micronetディスプレイの正常性確認ページでは、ゲートウェイはタイプ7デバイス (例: TYP7、TYPE7または TYPE 7)として識別されます。

**通知：**

Micronetファミリの完全なユーザーマニュアルおよびその他の有用な情報については、製品に付属のCD-ROM、またはRaymarineのWebサイト ([www.raymarine.com](http://www.raymarine.com)) を参照してください。

**Note:**

Pour la documentation complète d'utilisation de la famille Micronet et pour toute autre information utile, veuillez consulter le CD-Rom qui est fourni avec votre produit ou bien consulter le site internet de Raymarine [www.raymarine.com](http://www.raymarine.com)

**Hinweis:**

Die komplette Dokumentation der Micronet-Familie und weitere nützliche Informationen finden Sie auf der dem Produkt beiliegenden CD-ROM oder auf der Internetseite [www.raymarine.com](http://www.raymarine.com)

**Opmerking:**

Kijk voor de volledige informatie over de Micronet instrumenten familie op de CD-ROM die bij uw product zit of op de website [www.raymarine.com](http://www.raymarine.com).

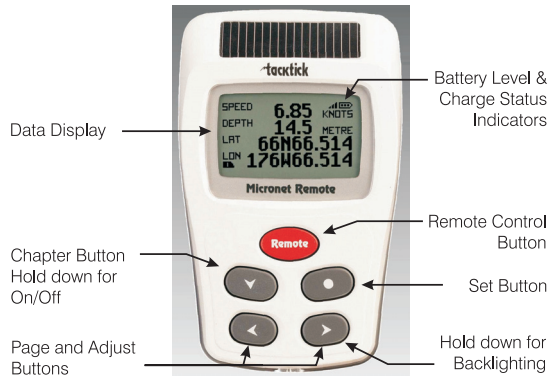
**Nota:**

Para documentación completa sobre la gama Micronet y otro tipo de información útil, por favor consulte el CD-ROM suministrado con su producto o visite la página web de Raymarine en [www.raymarine.com](http://www.raymarine.com).

**Nota:**

Per la documentazione completa sulla famiglia Micronet e altre informazioni fare riferimento al CD-ROM fornito con il prodotto o al sito Raymarine: [www.raymarine.com](http://www.raymarine.com).

## Display Features



### オンとオフを切り替える

ディスプレイをオンまたはオフにするには、**◀** ボタンを押して2秒間押し続けます。



### バックライト

ディスプレイのバックライトを調整するには、**▶** ボタンを2秒間押し続けます。次に **◀** と **▶** ボタンを使用して、オフ、またはレベル1、2、3から選択します。電力を節約するために、セットアップを使用して個々のディスプレイをローカルバックライト制御に設定することができます。それ以外の場合、バックライト機能はネットワーク上のすべてのディスプレイのバックライトレベルを設定します。



### 電源管理とバッテリー寿命

電源状態は2つのアイコンで表示されます：バッテリー残量 と充電率 。表示されるバーが多いほど、バッテリー残量/充電率は高くなります。

注：内蔵バッテリーが完全に充電されている場合、充電率アイコンは常に低を示します。



**人工光はバッテリーを充電しません。** Micronetディスプレイを人工光の近くに置くと、ディスプレイに深刻な損傷を与えることがあります。

自然光でのみ充電してください。

次回使用する前にディスプレイを長期間保管する場合は、保管前に電池が完全に充電されていることを確認してください。

### ポケットモード

セットアップでポケットモードが有効になっていると、ユーザーが設定した時間が経過すると、リモートディスプレイのLCDパネルがオフになります。いずれかのボタンを押すとディスプレイパネルの電源が入ります。

## 情報表示操作

機器データ画面は4つの章で構成され、各章には関連情報のページがあります。

- ▶ ボタンは章をスクロールします。
- ◀ と ▶ ボタンはページ間を前後にスクロールします。

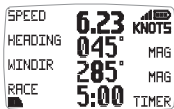
新しい章が選択されると、その章で最後に選択されたデータページが表示されます。ページを非表示にして、必要に応じてディスプレイを設定できます。詳細については、完全なユーザーガイドを参照してください。

### 単一行ディスプレイ



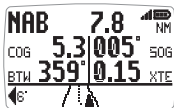
それぞれが単一のデータ項目を表示する8ページ。  
各ページに表示するデータ項目は設定で選択できます。

### 4ラインディスプレイ



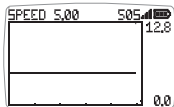
それぞれ4つのデータ項目を表示する4つのページ。  
各ページに表示するデータ項目は設定で選択できます。

### ローリングロードディスプレイ



現在表示されているウェイポイント名、ウェイポイントまでの距離、地上を通過する速度 (SOG)、ウェイポイントまでの方位、クロストラックエラー、および旋回角度。ローリングロードダイアグラムは、前のウェイポイントから現在のウェイポイントまでのダイレクトトラックに関連する船舶の進路と、ダイレクトトラックに戻るために操縦する方向を示しています。

### グラフィカルディスプレイ



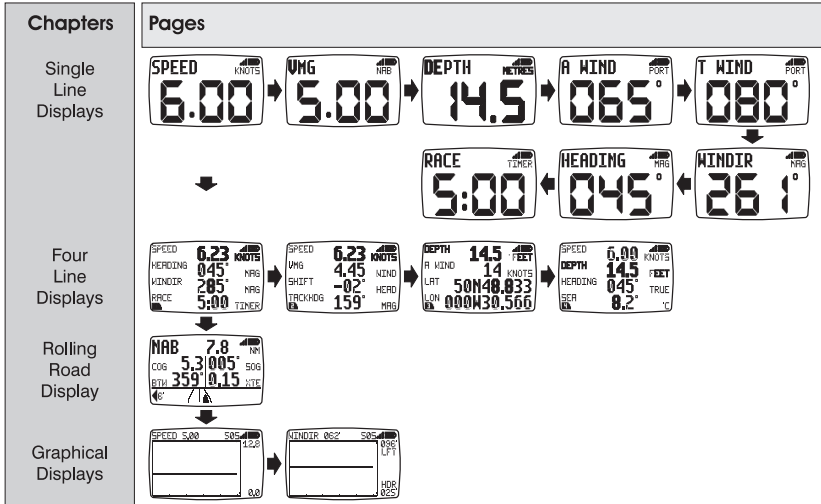
2ページ。それぞれが時間に対してユーザーが選択したデータ項目のプロットを表示します。  
風向グラフの場合、LFTラベルとHDRラベルはグラフの揚力とヘッダーのトレンドセグメントを示します。

### グラフの期間を変更するには：

- グラフ表示中に ボタンを押す。ページ上部に「CHANGE TIME」というメッセージが表示されます。
- と ボタンを使用して期間を変更します。もう一度 押して選択を確定します。



## デフォルトの章とページの図



## リモコン操作

このモードでは、リモートディスプレイはMicronetネットワーク上の他のディスプレイの機能を制御することができます。

すべてのリモートコントロール画面は、リモートコントロールモードをすぐに認識できるように、黒い背景に白いテキストで「反転」で表示されます。

何もキーが押されていない状態で30秒が経過すると、リモコンモードは解除されます。リモートディスプレイは自動的に情報表示モードに戻ります。

## リモートコントロールモードに入る

ボタン **remote** 長押し



リモートディスプレイは、リモートコントロール用に設定されているネットワーク上のMicronetディスプレイのリストを作成します。このリストにより、ユーザーはリモートディスプレイで制御するディスプレイを選択できます。現在制御用に選択されているディスプレイは、ディスプレイIDの周囲の **➡** と **➡** マークで示されます。






選択されたディスプレイの画面が点滅して、リモートコントロールされていることを示します。

ネットワーク上のディスプレイをリストに追加したりリストから削除したり、リストの順序を変更したりできます。セットアップで。





## 制御用に別のディスプレイを選択する

目的の表示が強調表示されるまで、**remote** ボタンを繰り返し押します。新しく選択されたディスプレイの画面が点滅し、それがリモートコントロール下にあることを示します。

## 選択した表示を制御します

リモートディスプレイの 、、 または  ボタンを押すと、コントロールディスプレイの同じボタンを押すのと同じ効果があります。例えば、 ボタンを押すと、制御された表示は次の章にスクロールします。

リモートディスプレイのキーを押すことで、コントロールディスプレイの全範囲の操作および設定機能を利用できます。



注：リモートディスプレイの最初の 、、 または  を押すと、コントロールディスプレイの画面の点滅が止まりますが、リモートディスプレイがリモートコントロールモードを終了するまで、コントロールディスプレイはリモートコントロール下にあります。

## リモートコントロールモードを終了する

**remote** ボタンを押し続けます。リモート表示は情報表示モードに戻ります。

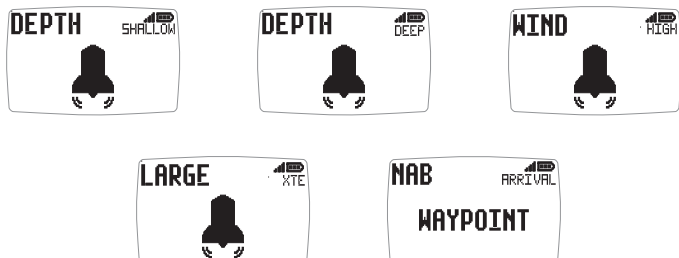
キーを押さずに30秒が経過すると、リモートコントロールモードは自動的に解除され、リモートディスプレイは情報表示モードに戻ります。

## キーロック

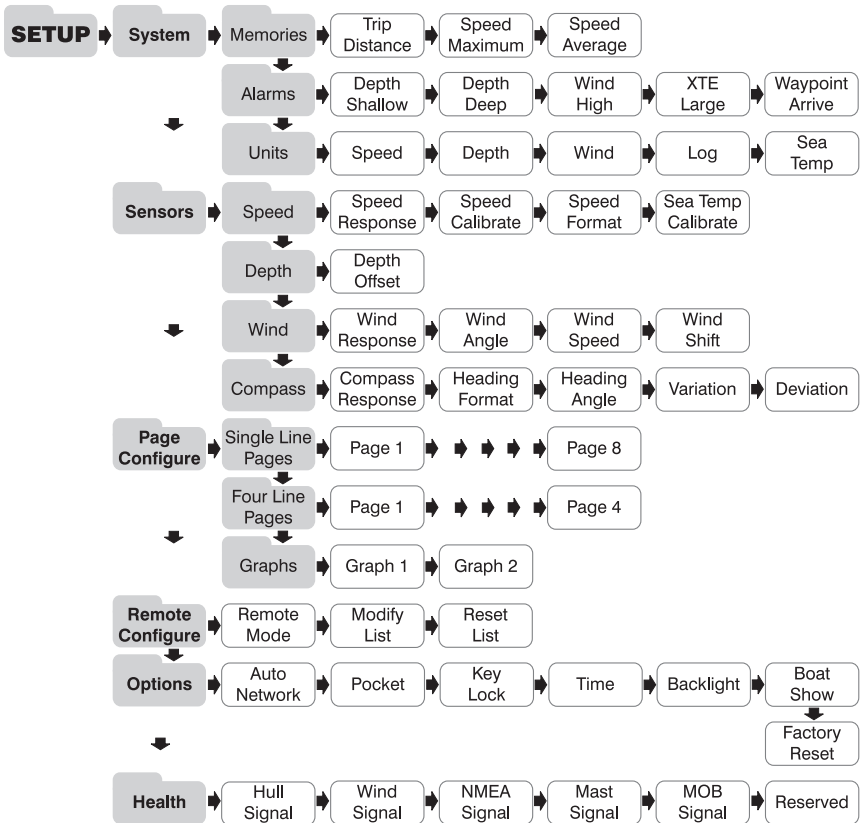
誤ってキーを押してしまうのを防ぐために、セットアップでキーロックを有効または無効にすることができます。 に続いて  を押してキーのロックを解除します（これにより、キーが1分間機能し、その後キーが自動的に再ロックされます）。

## 警報

いくつかのデータアラームをセットアップで設定できます。5ページを参照



## セットアップと校正





**Setup and Calibrationメニューに入るには:** ボタンを2秒間押し続けます。チャプターのリストが表示され、アクティブなチャプターはカーソルでマークされます 。

**アクティブなチャプターを変更する:** 希望のチャプタータイトルがカーソルの横に表示されるまで ボタンを繰り返し押します。





**アクティブな章に入る:** ボタンを押す。アクティブなページがカーソルでマークされた状態でページのリストが表示されます 。  
 ボタンを押すと、チャプタのリストに戻ります。

**アクティブページを変更する:** 目的のページタイトルがカーソルの横に表示されるまで、 ボタンを繰り返し押します。





**アクティブなページに入る:**  ボタンを押す。パラメータと現在の設定のリストが、カーソルの上にアクティブなパラメータとともに表示されます 。

 ボタンを押すと、ページのリストに戻ります。

**アクティブなパラメータを変更する:** 目的のパラメータタイトルがカーソルの上にくるまで  ボタンを繰り返し押します 。

**数値パラメータ値を編集する:**  ボタンを押す。値のデータが点滅し始めます。 と  ボタンを使って値を調整します。もう一度  ボタンを押すと、新しい値が設定されます。

**メモリ値をリセットする:**  ボタンを押す。

**リストからパラメータオプションを選択するには:**  ボタンを押す。パラメータオプションが点滅します。 と  ボタンを使って必要なオプションを選択します。もう一度  ボタンを押すと、新しいオプションが設定されます。

**ON / OFFパラメータ設定を切り替えるには:**  ボタンを押す。

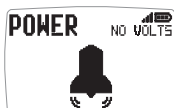
## トラブルシューティング

### ネットワークアラームの紛失



マスターディスプレイが正しく機能していること、および影響を受けるディスプレイが範囲内にあることを確認してください。

### いいえボルトアラームは鳴りません:



ハル送信機とワイヤレス (NMEA) インターフェースが9~30VのDC電源に接続されていることを確認します。

### ローバッテリーアラームが鳴ります。



Setup / Healthに移動し、アラーム表示に示されているように、Hull Transmitter / Wireless (NMEA) インターフェイス/Wind Transmitterのバッテリーレベルを確認します。必要に応じて充電するか、日光の当たる場所に置いてください。

### 節電アラームが鳴ります。




ネットワーク上にデータアクティビティはありません。システムは電力を節約するために終了します。キャンセルするにはいずれかのボタンを押してください。

## Les informations affichées






## Allumer et éteindre l'instrument

Pour allumer ou éteindre votre système Micronet, appuyez pendant 2 secondes sur le bouton .





## Rétro éclairage

Pour régler le rétro éclairage maintenez une pression pendant 2 secondes sur le bouton . Pressez les boutons  et  pour naviguer entre les réglages OFF, 1, 2 et 3, pendant que l'éclairage s'adapte. Pour économiser de l'énergie, vous pouvez contrôler l'éclairage de tous les afficheurs ou seulement celui que vous manipulez.



## Gestion électrique et vie de la batterie

L'état énergétique est indiqué par 2 icônes sur l'afficheur de l'instrument: Niveau de batterie  et ratio de charge . Plus il y a de barres, plus le niveau de la batterie ou son ratio de charge est élevé.

*Notez: Si la batterie interne est chargée au maximum, son ratio de charge restera faible.*



**La lumière artificielle NE rechargera PAS votre batterie.** Placer votre instrument Micronet proche d'une lumière artificielle va sérieusement endommager l'instrument. Recharger uniquement à la lumière naturelle du jour.

Si les instruments sont conservés pendant une longue période sans utilisation (Hivernage), vérifiez que les batteries sont chargées au maximum avant stockage.



## Mode "Pocket"

Quand le mode "Pocket" est sélectionné l'afficheur " Remote " éteint l'écran LCD après un temps configuré sans opération. Presser un des boutons pour rallumer l'affichage.

## Choix du mode d'affichage

Les pages de données sont organisées en quatre chapitres qui contiennent chacune différentes pages de données.

Utilisez la touche  pour naviguer entre les chapitres.

Utilisez les touches  et  pour se déplacer entre les pages au sein d'un chapitre.

Quand un nouveau chapitre a été sélectionné, la dernière page utilisée du chapitre apparaît.

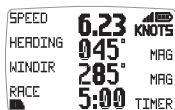
Les pages peuvent être cachées pour vous permettre de configurer vos afficheurs à vos propres besoins - Voir le manuel d'utilisation complet pour plus de détails.

### Chapitres d'affichage de données uniques



Huit pages qui affichent chacune une donnée. La donnée affichée pour chacune des pages est configurable dans le setup.

### Chapitre d'affichage quatre lignes



Quatre pages qui affichent chacune quatre lignes de données. La donnée affichée pour chacune des pages est configurable dans le setup.

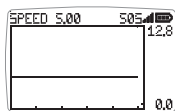
### Chapitre suivi de route



Une page unique qui affiche les données de navigation suivantes : Le nom de la marque actuelle, la distance à cette marque, la route fond (COG), la vitesse fond, le cap vers la marque, l'écart de route (XTE), écart de cap.

Le diagramme de la route actuelle montre la route du voilier par rapport à la route directe de la marque précédente à la prochaine marque ainsi que le cap à barrer pour rentrer dans la route directe.





### Chapitre d'affichage graphique



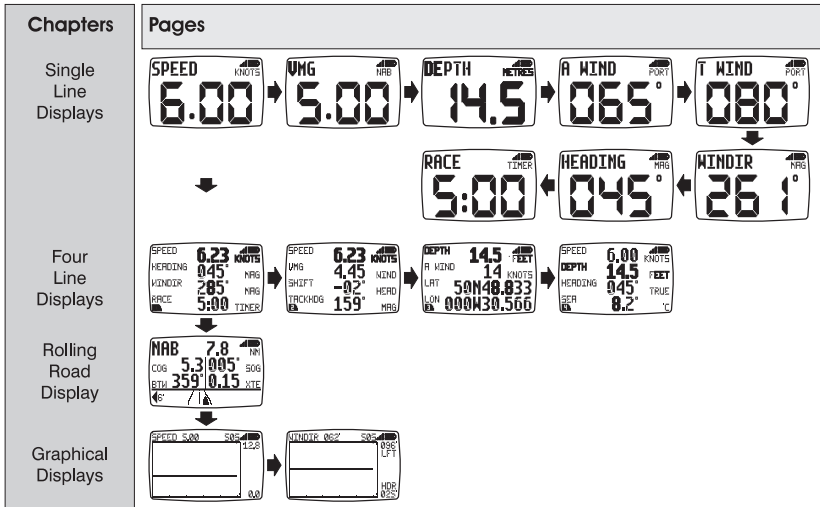
Deux pages affichent sous forme de graphes l'enregistrement d'une donnée de navigation par rapport à l'axe du temps.

*Pour le graphe de la direction du vent, les légendes LFT et HDR indiquent le coté adonnant et refusant des segments du graphe.*

### Pour modifier l'échelle de temps du graphe:

Presser le bouton  lorsque la page graphe est affichée. Le message "CHANGE TIME" apparaît en haut de la page. Utiliser les boutons  et  pour modifier l'échelle de temps. Presser  à nouveau pour confirmer la sélection.

## Chapitre et pages par défaut



Français

## Opération de télé commande

Dans ce mode, l'afficheur distant est capable de télécommander les fonctions des autres afficheurs micronet en réseau.

L'affichage sur l'afficheur distant se met en négatifs (caractères blanc sur fond noir) pour indiquer l'activation du mode télécommande. Le mode télécommande est interrompu après une période de trente secondes (30s) sans aucune touche pressée. Dans ce cas, l'afficheur distant se remet en mode " affichage " .

### Pour activer le mode télécommande

Presser et maintenir le bouton **remote** .

L'afficheur Remote recherche la liste des afficheurs Micronet présents sur le réseau et prévus pour être commandés à distance. Cette liste permet à l'utilisateur de sélectionner un afficheur à commander. L'afficheur sélectionné pour être commandé à distance est indiqué par les flèches ➡ et ⬅ qui encadrent l'identifiant de l'afficheur sur la liste.

L'affichage de l'afficheur Raymarine sélectionné clignote pour indiquer qu'il est sous contrôle de la télécommande.






Des afficheurs du réseau peuvent être ajoutés ou supprimés de la liste, et l'ordre de la liste est configurable.

### Pour basculer la télécommande sur un autre afficheur





Presser plusieurs fois le bouton **remote** jusqu'à ce que l'afficheur désiré soit sélectionné (En sur brillance).

L'écran du nouvel afficheur sélectionné va clignoter pour indiquer qu'il est sous contrôle.

### Pour piloter l'afficheur sélectionné

Presser les touches  ,  ,  ou  de l'afficheur "remote" a les mêmes effets que de presser les mêmes touches de l'afficheur sélectionné. Par exemple presser la touche  va faire changer de chapitre l'afficheur sélectionné.

La totalité des fonctions de l'afficheur sont commandables à partir de l'afficheur "remote".

Note: Dès la première pression sur une des touches  ,  ,  ou  de l'afficheur " remote ", l'afficheur piloté cesse de clignoter mais reste sous contrôle tant que l'afficheur " remote " n'est pas sorti de ce mode.



### Pour sortir du mode télécommande

Presser et maintenir le bouton **remote** L'afficheur " remote " revient au mode affichage.

Après une période de trente secondes sans aucune action sur la télécommande, le mode télécommande est automatiquement terminé. L'afficheur " remote " retourne en mode affichage.

## Le Verrou

Le blocage clavier est configurable dans le setup afin de se protéger d'une action involontaire.

Une fois que le verrou est activé, la pression sur une touche fait apparaître le message de proposition de déverrouillage. Presser  suivi de  pour débloquer les touches (Ceci permet aux touches d'être actives pendant une minute avant un re-verrouillage automatique).

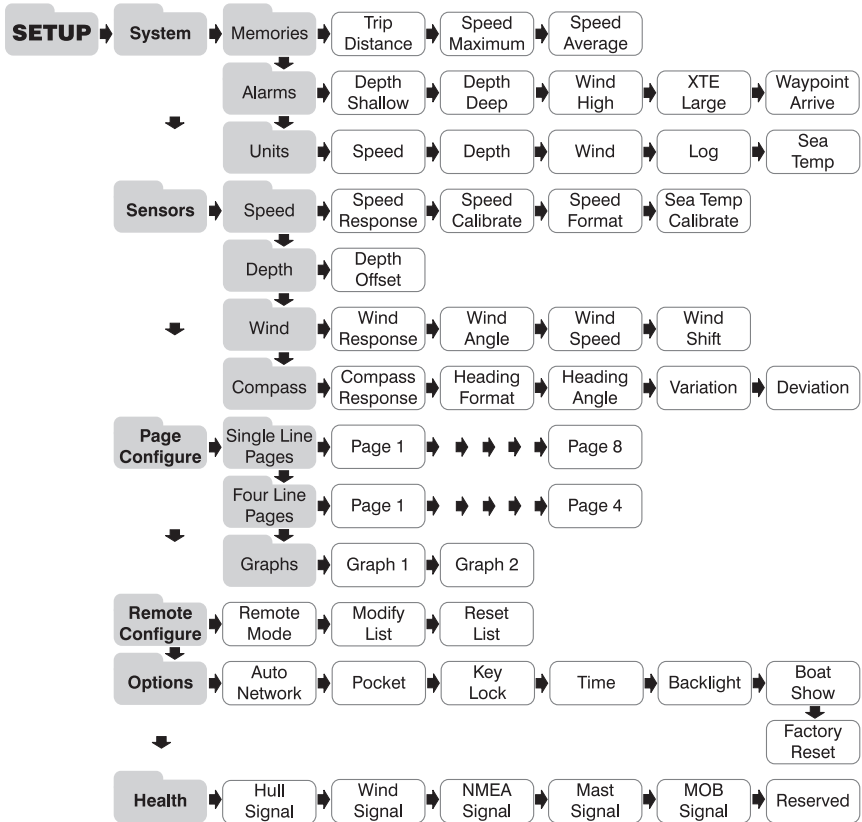
## Les alarmes



Un certain nombre d'alarmes d'information peuvent être configurées dans le menu " set up ". Voir page 5.









## Paramétrage et calibration






**Accéder au menu de setup et calibration:** Maintenir pressé la touche  pendant 2 secondes. Une liste de chapitre est affichée dont le chapitre actif marqué par le curseur .





**Pour changer de chapitre:** Pressez successivement le bouton  jusqu'à ce que le chapitre souhaité soit pointé par le curseur.

**Pour entrer dans le chapitre actif:** Presser le bouton  Une liste de pages est affichée dont la page active marquée avec le curseur . Presser le bouton  pour revenir à la liste des chapitres.





**Pour changer de page active:** Pressez successivement le bouton  jusqu'à ce que la page souhaitée soit pointée par le curseur.

**Pour entrer dans la page active:** Presser le bouton  Une liste de paramètres et de réglages actuels est affichée avec le paramètre actif au dessus du curseur . Presser le bouton  pour revenir à la liste des pages.

**Pour modifier le paramètre actuel:** Presser successivement le bouton  jusqu'à ce que le titre du paramètre soit au dessus du curseur .

**Pour modifier un paramètre numérique:** Presser le bouton . La valeur affichée clignote. Ajuster la valeur à l'aide des touches  et . Presser une nouvelle fois le bouton  pour valider la nouvelle valeur.

**Pour mettre à jour une valeur mémorisée:** Presser le bouton .

Pour sélectionner une option parmi une liste: Presser le bouton . L'option actuelle du paramètre commence à clignoter. Choisir l'option à l'aide des touches  et . Presser une nouvelle fois le bouton  pour valider la nouvelle valeur.

**Pour permuter entre le ON/OFF d'un paramètre (Actif/inactif):** Presser le bouton . Le paramétrage permute entre ON et OFF.

## Détection des anomalies

### Signal d'alarme sonore de perte de réseau:



Vérifiez que le " Master\* " fonctionne correctement et que l'afficheur affecté n'est pas éloigné de sa plage de fonctionnement.

### Signal d'alarme absence de tension:



Vérifiez que l'émetteur de coque et l'interface NMEA soient connectés à une alimentation entre 9 et 30 V.

### Signal d'alarme batterie basse:



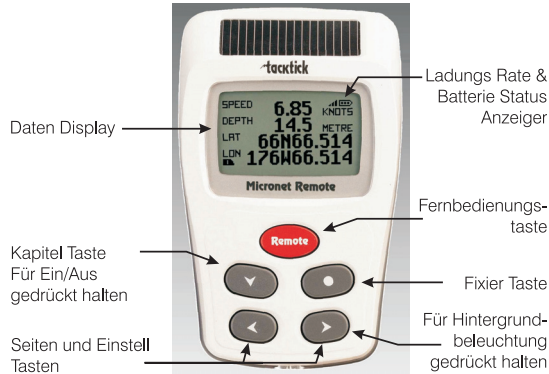
Passez en mode paramétrage/ chapitre " HEALTH " et vérifiez le niveau de charge sur le transmetteur de coque, l'interface NMEA, ou la girouette anémomètre, comme il est indiqué sur l'afficheur de l'alarme. Rechargez la batterie ou exposez aux rayons du soleil si nécessaire.

### Signal d'alarme d'économie d'énergie:



Il n'y a pas de transfert de données au travers du réseau. Le signal sonore indique que les instruments vont s'éteindre tout seuls. Pour maintenir la centrale allumée, appuyez sur un bouton pour annuler l'alarme.

## Anzeigen-Eigenschaften






## Ein- und Ausschalten

Um die Anzeigen ein- oder auszuschalten drücken Sie die  Taste für zwei Sekunden.





## Hintergrundbeleuchtung

Um die Hintergrundbeleuchtung einzuschalten drücken Sie die  Taste für zwei Sekunden. Dann benutzen Sie die  und  Tasten um Aus, oder den Beleuchtungsgrad 1, 2 oder 3 zu wählen. Um Strom zu sparen, können Sie im Setup wählen, die Hintergrundbeleuchtung für jedes Display individuell einzustellen. Ansonsten wird die Beleuchtung für das gesamte System übernommen.



## Spannungsmanagement und Batteriekontrolle

Der Stromstatus wird von zwei Icons angezeigt: Batterielevel  und Laderate . Je mehr Balken angezeigt werden, desto höher ist der Ladestatus der Batterie.

**Anmerkung:** Wenn die interne Batterie voll aufgeladen ist, ist die Laderateanzeige immer niedrig.



**Künstliches Licht lädt die Batterien NICHT auf.** Wenn Sie Ihre Micronet-Anzeige nahe einer künstlichen Lichtquelle platzieren beschädigen Sie Ihre Anzeige. Laden Sie nur mit natürlichem Licht.

Vergewissern Sie sich, dass die interne Batterie vollständig geladen ist, bevor Sie das Gerät länger unbenutzt lagern.

## Taschenmodus

Wenn der Taschenmodus aktiviert ist, schaltet das Remote Display nach einer vom Benutzer vorgegebenen Zeit die Flüssigkristallanzeige ab. Das Drücken irgendeiner Taste schaltet die Anzeige wieder an.

## Betrieb der Datenanzeige

Die angezeigten Daten sind in vier Kapitel geordnet, von denen jedes Seiten mit relativen Informationen enthält.

Der  Knopf führt durch die Kapitel.

Die  und  Knöpfe leiten durch die einzelnen Seiten eines Kapitels.

In jedem Kapitel wird die Datensseite gezeigt, die beim letzten Aufruf gewählt wurde.

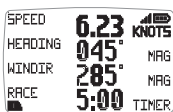
Seiten können nach persönlichem Gebrauch ausgeblendet werden. Für die Einstellung schauen Sie in die Betriebsanleitung.

### Ein-zeilige Anzeigen Kapitel



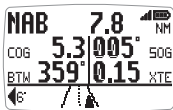
Acht Seiten, von denen jede einen einzigen Messwert anzeigt. Die Information auf jeder Seite kann im Setup gewählt werden.

### Vier-zeilige Anzeigen Kapitel



Vier Seiten, von denen jede vier Messwerte zeigt. Die Informationen auf jeder Seite können im Setup gewählt werden.

### Rolling Road Display Kapitel

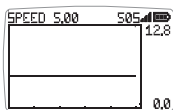


Eine einzige Seite zeigt die folgenden Navigationsdaten:

Aktueller Wegpunktname, Entfernung zum Wegpunkt, Kurs über Grund, Geschwindigkeit über Grund, Peilung zum Wegpunkt, Querversetzung und Korrekturwinkel.

Ein Rolling Road Diagramm illustriert den Kurs des Bootes relativ zum Direktkurs zwischen vorherigem und aktuellem Wegpunkt. Außerdem wird die Richtung, die man steuern sollte, um wieder auf den direkten Kurs zu kommen, wird außerdem angezeigt.





### Graphische Anzeigen Kapitel



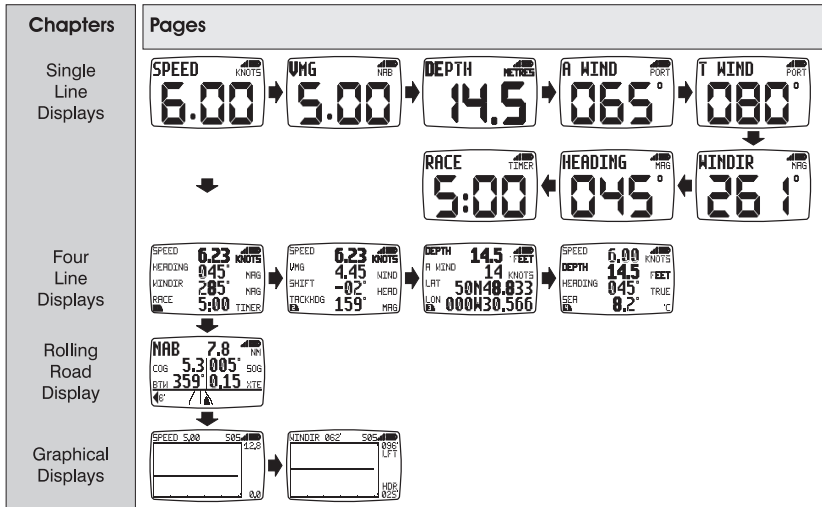
Zwei Seiten, auf denen vom Benutzer gewählte Daten zeitabhängig dargestellt werden.

Auf der graphischen Winddarstellung sind Segmente mit LFT (Sie können anluven) und HDR (Sie müssen abfallen) markiert.

#### Um den Zeitraum der Graphik zu ändern:

Drücken Sie die  Taste wenn die Graphik gezeigt wird. Die Nachricht "CHANGE TIME" erscheint oben auf der Seite. Drücken Sie die  und  Tasten, um die Zeitdauer zu ändern. Drücken Sie die  Taste um Ihre Wahl zu bestätigen.

## Diagramm der werksgestellten Kapitel und Seiten



Deutsch

## Betrieb der Fernbedienung

In dieser Betriebsart können die Funktionen anderer Displays im Micronet Netz gesteuert werden.

Alle Fernbedienungsseiten werden invertiert dargestellt, d.h. mit weißem Text auf schwarzem Hintergrund, wodurch sofort klar wird, dass man sich in diesem Modus befindet.

Die Fernbedienung ended und die Informationsbetriebsart wird automatisch wieder hergestellt, wenn während einer halben Minute keine Taste gedrückt wurde.

Einschaltung der Fernbedienung

Drücken Sie die **remote** Taste für zwei Sekunden.



Das Remote Display erstellt eine Liste der Micronet Displays im Netz, die für die Fernbedienung konfiguriert sind. Von dieser Liste kann der Benutzer ein Gerät zur die Fernbedienung durch das Remote Display wählen. Das Gerät, das zur Zeit vom

Remote Display kontrolliert werden kann, ist mit **➔** und **➜** markiert.

Die Anzeige des gewählten Displays blinkt, um zu zeigen, dass es vom Remote Display gesteuert wird.

Welche Displays in welcher Ordnung auf der Liste erscheinen, kann im Setup gewählt werden.

### Ein anderes Display wählen

Drücken Sie die **remote** Taste wiederholt, bis sich das gewünschte Gerät zwischen den Cursors befindet. Die Anzeige des neugewählten Displays wird blinken, um zu zeigen, dass es fernbedient wird.

### Fernbedienung des gewählten Gerätes

Die Tasten **▼**, **○**, **◀** und **▶** auf dem Remote Display haben nun die gleichen Funktionen wie auf dem ferngesteuerten Gerät. Das Drücken der **▼** Taste wird z.B. die nächste Kapitelseite zeigen.

Alle Betriebs- und Konfigurationsvorgänge, die auf dem Display möglich sind, sind auch auf dem Remote Display möglich.

Hinweis: Obwohl nach dem ersten Druck einer **▼**, **○**, **◀** oder **▶** Taste das Blinken des ferngebedienten Gerätes aufhört, wird es weiterhin vom Remote Display gesteuert, bis sich die Fernbedienung ausschaltet (oder ausgeschaltet wird).

### Ausschaltung der Fernbedienung

Drücken Sie die **remote** Taste für zwei Sekunden. Das Remote Display kehrt zur Informationsbetriebsart zurück. 30 Sekunden nach dem letzten Tastendruck wird der Remote Modus automatisch abgebrochen und der Display Modus wieder aufgenommen.

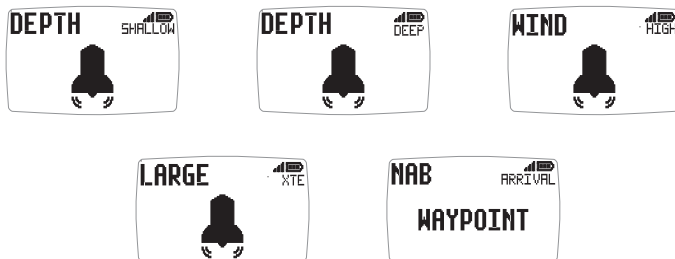
## Tastensperre

Eine Tastensperre kann im Setup ein- oder ausgeschaltet werden um einen unerwünschten Tastendruck zu verhindern.

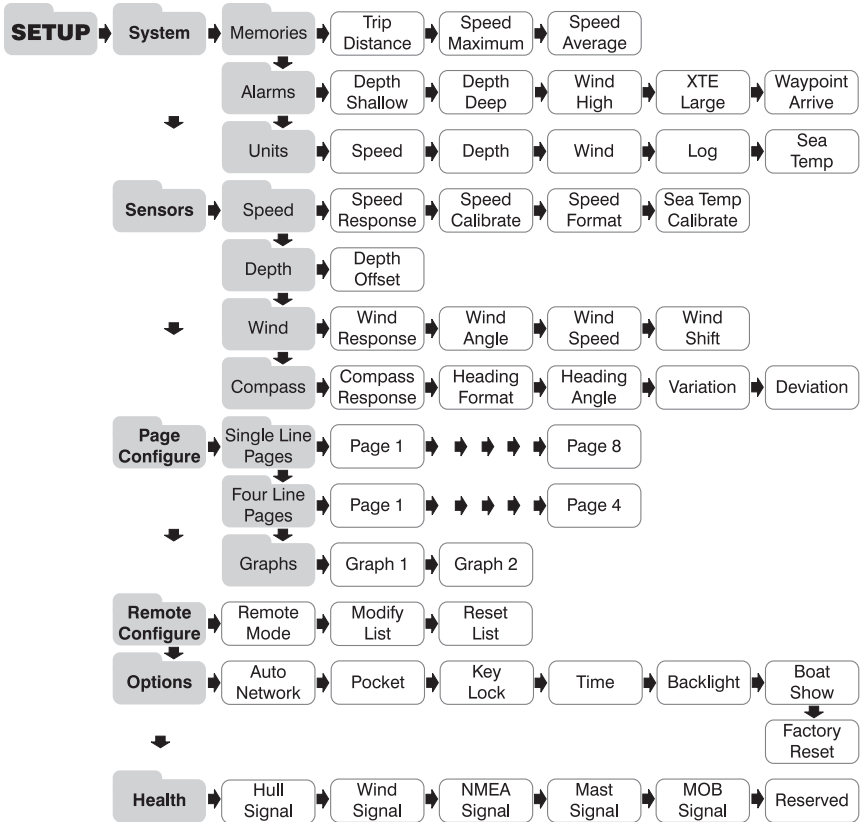
Sobald die Tastensperre aktiviert ist, wird nach einem Tastendruck die Eingabeaufforderung gegeben, die Tastensperre zu deaktivieren. Drücken Sie die **◀** Taste und anschließend die **▶** Taste um die Tastensperre zu deaktivieren (die Tastensperre wird nur für eine Minute deaktiviert, dann werden die Tasten automatisch wieder gesperrt).

## Alarm

Eine Reihe von Alarmfunktionen können im Setup eingestellt werden. Siehe Seite 5.






## Setup und Kalibrierung






**Um das Setup- und Kalibrierungsmenü zu öffnen:** Drücken Sie die  Taste für zwei Sekunden. Eine Liste von Kapiteln wird gezeigt, von denen das aktive mit dem  Cursor markiert ist.





**Wechseln des aktiven Kapitels:** Drücken Sie die  Taste wiederholt, bis der Cursor das gewünschte Kapitel markiert.

**Öffnung des aktiven Kapitels:** Drücken Sie die  Taste. Eine Liste von Seiten wird gezeigt, von denen die aktive Seite mit dem Cursor markiert  ist. Drücken der  Taste bringt Sie wieder zur Kapitteliste zurück.





**Wechseln der aktiven Seite:** Drücken Sie die  Taste wiederholt, bis der Cursor die gewünschte Seite markiert.

**Öffnung der aktiven Seite:** Drücken Sie die  Taste. Eine Liste von Parametern und derzeitigen Einstellungen wird gezeigt, von welchen der aktive Parameter mit dem Cursor markiert  ist. Drücken Sie die  Taste bringt Sie wieder zur Seitenliste zurück.

**Wechseln des aktiven Parameters:** Drücken der  Taste wiederholt, bis der Cursor den gewünschten Parameter markiert.

**Um einen Parameter zu ändern:** drücken Sie die  Taste. Der Wert beginnt zu blinken. Benutzen Sie die  und  Tasten um den Wert zu ändern. Drücken Sie die  Taste um den Wert zu fixieren.

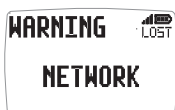
**Um einen Speicherwert rückzusetzen:** drücken Sie die  Taste. Der Wert ist rückgesetzt.

**Um eine Parameter Alternative von einer Liste zu wählen:** drücken Sie die  Taste. Eine Parameter Alternative beginnt zu blinken. Benutzen Sie die  und  Tasten um die gewünschte Alternative zu wählen. Drücken Sie die  Taste um den Wert zu fixieren.

**Um zwischen ON/OFF Parameter Einstellungen zu schalten:** drücken Sie die  Taste. Der Parameter schalten zwischen ON und OFF.

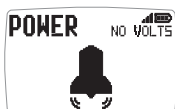
## Problemlösungen

### Alarm für Netzwerkverbindung verloren ertönt:



Stellen Sie sicher, dass das Hauptgerät eingeschaltet ist und korrekt funktioniert. Stellen Sie zudem sicher, dass die betroffenen Anzeigen in Reichweite sind.

### Kein Strom Alarm:



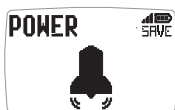
Überprüfen Sie, ob der Rumpfsender und das kabellose (NMEA) Interface an 9 bis 30 Volt Gleichstrom angeschlossen sind.

### Niedriger Batteriestand wird angezeigt:



Gehen Sie zu Setup - Health und prüfen Sie ob die Batterie des Rumpfsenders oder der kabellosen (NMEA) Schnittstelle betroffen ist. Andersfalls platzieren Sie die Anzeige im Sonnenlicht.

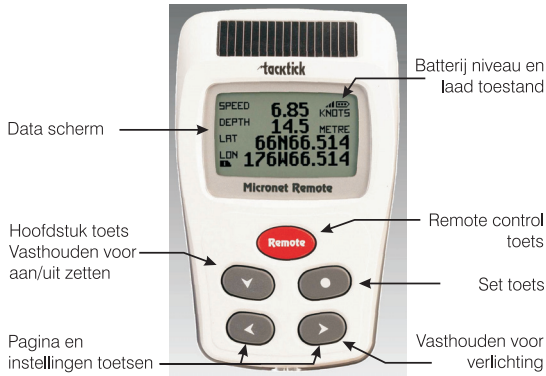
### Stromsparmodus wird angezeigt:



Wenn keine Datenaktivität im Netzwerk vorhanden ist, stellt sich das System auf Stromsparen ein. Drücken Sie einen beliebigen Knopf um dies aufzuheben.



## Scherm mogelijkheden



### Aan en uitschakelen

Druk 2 seconden op de ▼ toets om de display in te schakelen.





### Achtergrondverlichting

Druk, om de achtergrondverlichting in te schakelen de ► toets 2 seconden in. Kies vervolgens met de ◀ en ▶ toetsen de stand uit, 1, 2 of 3. Om stroom te besparen kunnen displays ook lokaal ingesteld worden; in het andere geval stelt u hier de achtergrondverlichting in voor het hele netwerk.



### Stroomverbruik en batterij levensduur

Twee icoontjes geven de voedingstatus aan: Batterij niveau  en mate van laden . Hoe meer streepjes, hoe beter de batterij of het laden.

**Opmerking:** Als de interne batterij volledig vol is zal de laad indicator altijd minimaal aangeven.



**Met KUNSTLICHT kunt u de batterij niet opladen.** Door het plaatsen van uw display dichtbij een kunstlichtbron kunt u de display zwaar beschadigen. Laadt de display alleen met daglicht.

Zorg voor volledig opgeladen batterijen als u de displays voor langere tijd wegbergt.

### Pocket Mode

Wanneer de vestzak modus ingesteld is zal de display na een vooraf ingestelde tijd uitschakelen. Druk op een willekeurige toets voor inschakelen.

## Gebruik van het informatiescherm

De dataschermen van het instrument vormen vier hoofdstukken, elk met gerelateerde informatie.

Met de  toets rolt u door de hoofdstukken

Met de  en  toetsen beweegt u voor en achteruit door de pagina's.

Bij kiezen van een hoofdstuk ziet u de laatst gebruikte pagina van dat hoofdstuk.

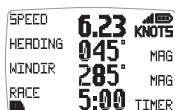
U kunt pagina's naar wens ook verbergen. Kijk in de handleiding voor de volledige gegevens.

### Hoofdstuk een regelige schermen



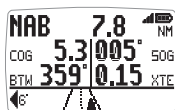
Er zijn acht pagina's met één regel informatie. De per pagina te tonen data kan in de setup gekozen worden.

### Hoofdstuk vier regelige schermen



Er zijn vier pagina's met vier regels informatie beschikbaar. De per pagina te tonen data kan in de setup gekozen worden.

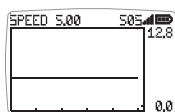
### Hoofdstuk snelweg scherm



Één pagina met daarop de volgende informatie:

Naam van het actieve waypoint, afstand tot dat waypoint, koers- en snelheid over de grond en richting naar dat waypoint, van koers fout en richtingsfout. Het snelweg scherm laat de koers van het vaartuig zien in relatie tot een rechtstreekse lijn van het vorige naar het volgende waypoint, uitgedrukt in een richting te sturen naar die lijn.

### Hoofdstuk grafische schermen



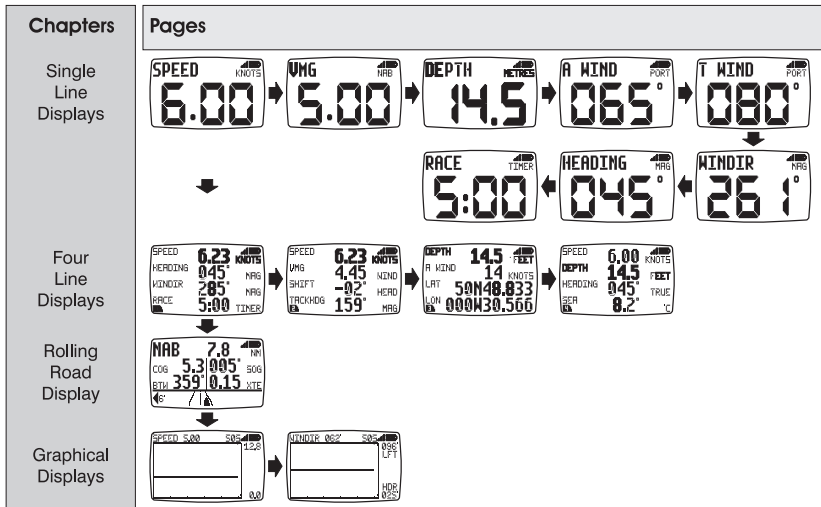
Twee schermen, elk met een plot van een zelf gekozen gegeven tegen een tijdas.

*In grafische windrichtingweergave geven LFT en HDR aanwijzing voor de lift of header trend van de weergave*

#### De tijdas aanpassen:

Druk in een grafisch scherm op . Bovenin het scherm ziet u "CHANGE TIME". Verander de tijd met de  en  toetsen. Druk opnieuw op  om te bevestigen.

## Fabrieksinstelling hoofdstuk en pagina indeling



## Afstand bediening stand

In deze stand kan de remote display functies van andere displays uit het netwerk bedienen.

Om deze stand makkelijk te herkennen zijn alle afstand bedienings-schermen in omgekeerd contrast weergegeven. Dus met witte tekst op een zwarte achtergrond.

Als er 30 seconden geen toets ingedrukt wordt zal de display automatisch terugkeren naar de informatie stand.

### Afstand bediening stand activeren

Houdt de **remote** toets ingedrukt.



De Remote Display maakt een lijst aan met alle displays uit het netwerk die voor afstandsbediening geschikt zijn. Uit deze lijst kan de gebruiker een display kiezen voor bediening via de Remote Display. Door middel van de en pijlen is aangegeven welke display voor bediening geselecteerd staat.

Het scherm van het gekozen display zal knipperen om aan te geven dat het remote bediend wordt.

Er kunnen schermen gewist of toegevoegd worden aan de lijst en de volgorde van weergave kan aangepast worden in de setup.

## Een andere display kiezen voor bediening

Druk herhaaldelijk op de **remote** toets totdat het gewenste display aangegeven wordt.

Het scherm van het nieuw gekozen display zal knipperen om aan te geven dat het remote bediend wordt.

## Het gekozen display bedienen

Het gebruik van de , ,  en  toetsen heeft dezelfde werking als de dezelfde toetsen rechtstreeks op de display. Door bijvoorbeeld op de  toets te drukken zal de display naar het volgende hoofdstuk gaan.

Alle functies voor het instellen van de display zijn via de toetsen van de remote display te gebruiken.

Opmerking: de eerste keer dat u op de remote display een van de , ,  of  toetsen gebruikt, stopt de bediende display met knipperen maar blijft onder controle van de remote display totdat u de remote controle stand verlaat.

## De remote controle stand verlaten

Houdt de **remote** toets 2 seconden vast. De remote display zal terugkeren naar de informatiestand.

Als er 30 seconden verstrijken zonder bediening zal de Remote Display uit remote control modus terug schakelen naar de informatie stand.

## Toetsslot

Het toetsslot kan in de setup geactiveerd worden om perongeluk bedienen te voorkomen.

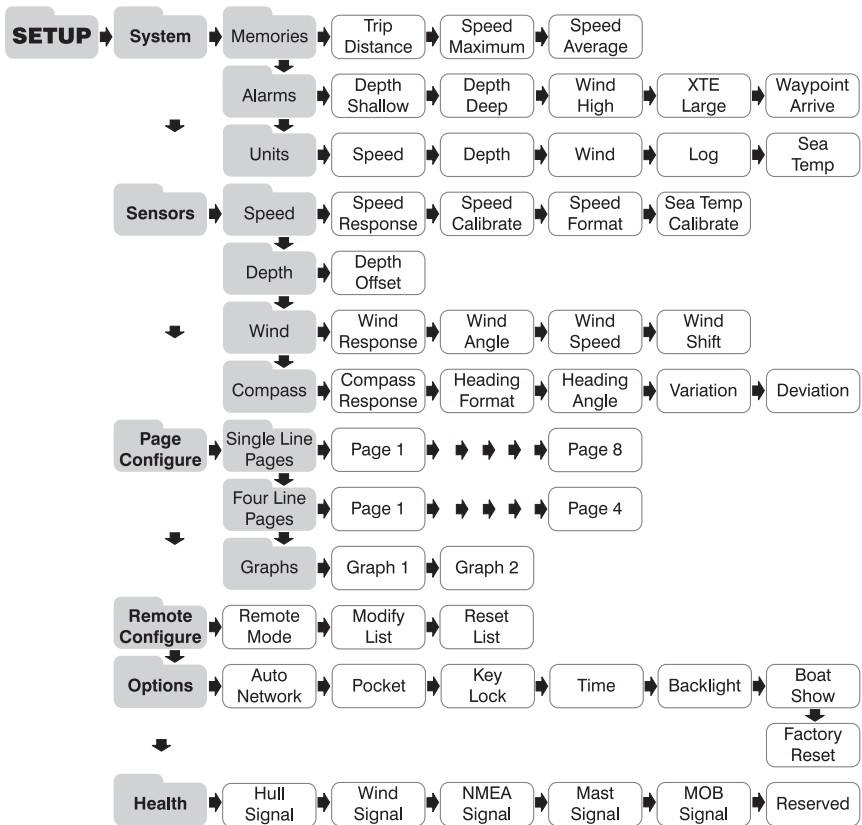
Als het toetsslot geactiveerd is zal elke ingedrukte toets het vrijgeefsignaal laten zien. Druk achtereenvolgens op de  en de  toets waarna u de display 1 minuut kunt bedienen.

## Alarmen

In de setup kunt u een aantal alarmen instellen. Zie pagina 5.



## Instellingen en kalibratie



**Naar het setup en kalibratiemenu gaan:** houdt de toets twee seconden vast. U ziet een hoofdstukkenlijst met het actieve hoofdstuk aangegeven door de cursor .

**Het actieve hoofdstuk veranderen:** Druk herhaaldelijk op de toets tot het gewenste hoofdstuk naast het icoontje staat.



**Het gekozen hoofdstuk activeren:** Druk op de toets om het gekozen hoofdstuk te activeren voor aanpassen instellingen .

Druk op de toets om terug te keren naar de lijst met hoofdstukken.

### De actieve pagina wijzigen:

Druk herhaaldelijk op de toets tot de gewenste pagina naast het icoontje staat.

### De gekozen pagina activeren:

Druk op de toets . U ziet een lijst met huidige instellingen waarvan de actieve het  icoontje laat zien.

Druk op de  toets om terug te keren naar de lijst met pagina's.

### De actuele instelling veranderen:

Druk herhaaldelijk op de  toets tot de gewenste instelling naast het  icoontje staat.

### Een numerieke waarde invullen:

Druk op de  toets, de waarde zal knippen. Pas de waarde aan met de  en  toetsen. Druk opnieuw op de ( ) toets om te bevestigen.

### Een geheugen waarde terugzetten:

Door op de  toets te drukken zal de waarde gereset worden

### Een optie uit een lijst kiezen:

Druk op de  toets; de optie zal knippen. Kies de juiste optie met de  en  toetsen. Druk op de  toets om te bevestigen.

### Schakelen tussen AAN en UIT bij een optie:

Druk op de  toets. De instelling zal wisselen tussen AAN en UIT.

## Problemen oplossen

### Het Lost Network Alarm klinkt:



Controleer het hoofd display op correcte werking en kijk of het display dat alarm geeft binnen bereik is.

### Het No Volts alarm klinkt:



Controleer of de centrale zender en/of de draadloze NMEA interface tussen de 9 en 30 volt voedingsspanning hebben.

### Het Low Battery alarm klinkt:



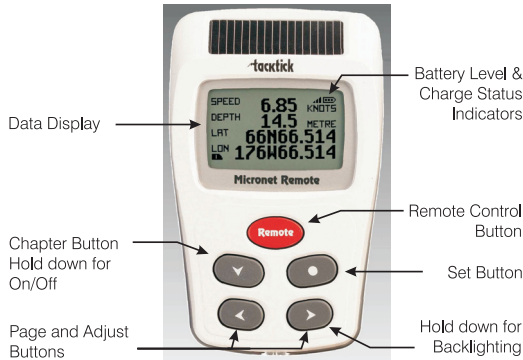
Ga naar Setup/Health en controleer het op de display aangegeven batterij niveau (centrale zender/NMEA interface/wind sensor). Laad de batterij weer op of plaats de unit in direct zonlicht.

### Het Power Save alarm klinkt:



Het netwerk vertoont geen data activiteit en het systeem zal zichzelf uitschakelen om stroom te sparen. Druk op een willekeurige toets om het systeem aan te laten blijven.

## Propiedades de la pantalla






## Encender y apagar

Para encender o apagar su sistema Micronet pulse el botón  durante 2 segundos.





## Iluminación de la pantalla

Para ajustar la iluminación de fondo de pantalla mantenga pulsado el botón  durante dos segundos. Use entonces los botones  y  para seleccionar desde la opción OFF (apagado), a los niveles 1,2, o 3. Para ahorrar energía, el menú de configuración puede usarse para ajustar la iluminación de las pantallas de forma individual; sino la función de iluminación del fondo de pantalla establecerá el mismo nivel de iluminación para todas las pantallas de la red.



## Administración de la energía y duración de la batería

El estado de la batería se muestra a través de dos iconos:  el del nivel de batería y  el del ritmo de carga. Cuántas más barras se muestren, mayor será el nivel de batería o ritmo de carga.

*Nota: Si la batería interna está cargada al completo, el icono de ritmo de carga siempre indicará nivel bajo.*



**NINGUNA fuente de luz artificial cargará la batería.** Si sitúa su pantalla Micronet cerca de una luz artificial dañará seriamente la pantalla. Sólo recargue la batería con luz natural.

Si desea guardar los instrumentos durante un largo período de tiempo antes de su próxima utilización asegúrese de que las baterías está completamente cargadas antes de guardarlos.

## Modo bolsillo

Cuando el modo bolsillo esté activado la pantalla LCD del Display Remoto se apagará automáticamente tras un periodo de tiempo previamente configurado. Al pulsar cualquier botón se encenderá nuevamente la pantalla.

## Operación de visualización de la información

Las pantallas de los datos de los instrumentos están organizadas en cuatro capítulos, cada uno contiene páginas con información relacionada.

Con el botón  nos desplazamos por los capítulos.

Los botones  y  permiten desplazarse hacia delante y hacia atrás entre las páginas.

Cuando un nuevo capítulo es seleccionado, se muestra la página de datos que fue seleccionada por última vez en ese capítulo.

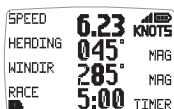
Puedes ocultar las páginas indeseadas para configurar el Race Master a tus necesidades. Ver el guía completa del usuario para los detalles.

### Pantallas de una sola línea de datos



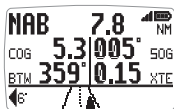
Son ocho páginas, todas ellas muestran una sola línea de datos. El elemento de información que se mostrará en cada página puede ser seleccionado en el menú de configuración.

### Pantallas de cuatro líneas de datos



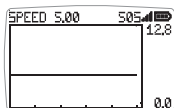
Son cuatro páginas, cada una de ellas muestra cuatro líneas de datos. Los elementos de información que se mostrarán en cada página pueden ser seleccionados en el menú de configuración.

### Pantalla de navegación en regata



Una sola página muestra: Nombre del waypoint o punto de destino activo, distancia al waypoint (DTW), rumbo efectivo (COG), velocidad efectiva (SOG), rumbo al punto de destino activo (BTW), cross track error (XTE) y ángulo de deriva. Un diagrama ilustra el rumbo de las embarcaciones respecto al rumbo calculado navegando en línea recta entre un punto de destino anterior y uno actual, y la dirección en la que se debe virar para regresar al rumbo directo.





### Pantallas Gráficas



Dos páginas, ambas muestran una serie de información en función del tiempo.

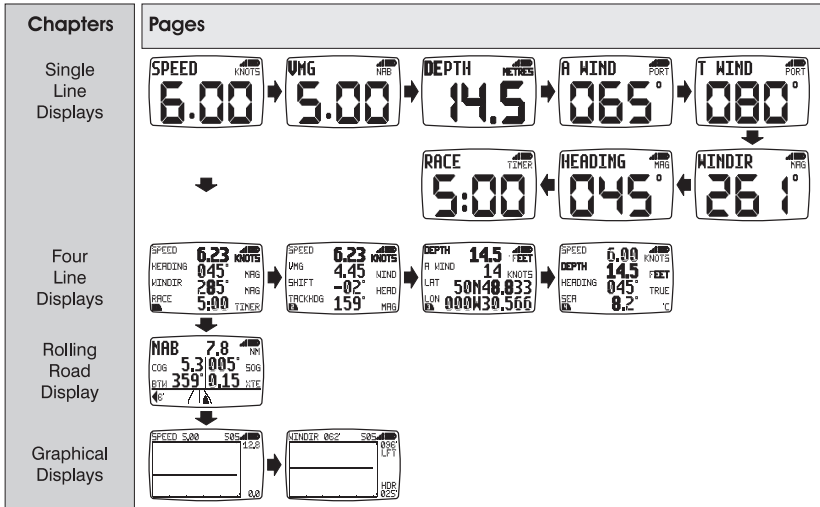
*En la gráfica de dirección del viento, las etiquetas LFT y HDR indican los valores correspondientes a LIFT (cambio favorable de viento) y HEADER (cambio desfavorable de viento).*

#### Para modificar el periodo de tiempo del gráfico:

Pulse  mientras el gráfico es mostrado. Aparecerá el mensaje "CHANGE TIME" ("modificar el tiempo") en la parte superior de la página. Utilice los botones  y  para modificar el periodo de tiempo. Pulse  de nuevo para confirmar la selección.



## Diagrama de capítulo y página preestablecidos de fábrica



## Funcionamiento del control remoto

En este modo, el elemento de Display Remoto es capaz de controlar las funciones de las demás pantallas de la red Micronet.

Todas las pantallas del modo control remoto mostrarán el texto en blanco sobre un fondo negro para facilitar el reconocimiento inmediato de dicho modo.

El modo control remoto será cancelado si no pulsa ningún botón durante un periodo de 30 segundos. El Display Remoto regresará entonces automáticamente al modo pantalla.

### Para acceder al modo control remoto

Pulse continuamente el botón **remote**.



El Display Remoto mostrará una lista de las pantallas de la red Micronet que pueden ser controladas con el remoto. Esta lista permite al usuario seleccionar una pantalla para que sea controlada. La pantalla que actualmente está bajo

control del Display Remoto es indicada a través de las flechas **➡** y **⬅**.






La pantalla del instrumento seleccionado parpadeará para indicar que está bajo control remoto.

Las pantallas de los instrumentos de la red pueden ser añadidas o borradas de la lista y la lista puede ser modificada desde el menú de configuración.





## Para seleccionar otro instrumento para su control

Pulse repetidamente el botón **remote** hasta que la pantalla deseada quede seleccionada. La pantalla del instrumento ahora seleccionado ahora parpadeará para indicar que se encuentra bajo control remoto.

## Para controlar la pantalla seleccionada

Al pulsar los botones , ,  o  en el Display Remoto, ello tendrá el mismo efecto que si los pulsara sobre la pantalla controlada. Por ejemplo, si presiona el botón , la pantalla bajo control se desplazará hasta el siguiente capítulo.

El abanico completo de funciones de operación y configuración de la pantalla bajo control está disponible al presionar los botones del Display Remoto.

Nota: La primera pulsación de los botones , ,  o  en el Display Remoto provocará que la pantalla bajo control deje de parpadear. Sin embargo, la pantalla seguirá bajo control hasta que el Display Remoto salga del modo control remoto.



## Para salir del modo control remoto

Pulse continuamente el botón **remote**. El Display Remoto volverá al modo "mostrar información".

Si transcurren más de treinta segundos desde la última pulsación de un botón, el modo control remoto será cancelado automáticamente y el Display Remoto regresará al modo pantalla.

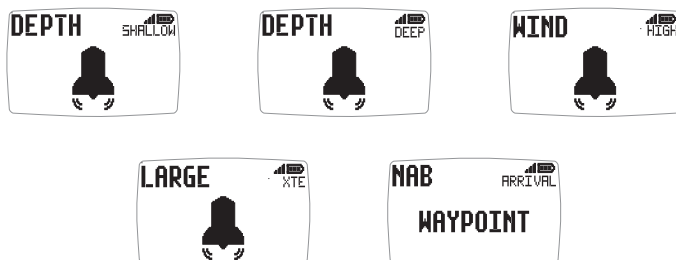
## Bloqueo de Teclas

El bloqueo de teclas puede ser activado o desactivado desde el menú de configuración para así proteger el sistema de una pulsación accidental de las teclas.

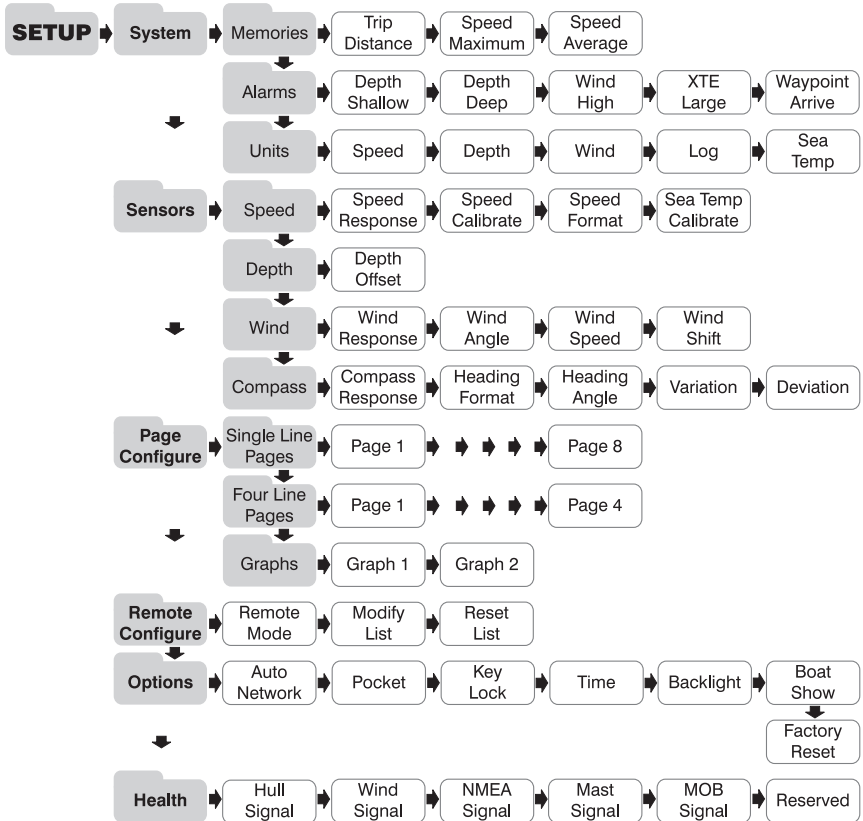
Una vez el Bloqueo de Teclas ha sido activado, si pulsa un botón cualquiera la unidad le dará la opción de desactivar el bloqueo. Pulse  seguido por  para desbloquear el teclado (esto le permitirá utilizar los botones durante un minuto, tras el cual la unidad se bloqueará de nuevo).

## Alarmas

Una serie de alarmas pueden ser configuradas desde el menú de configuración. Ver página 5.



## Configuración y calibración






**Para entrar en el menú de configuración y calibración:** presione durante 2 segundos . Se muestra una lista de capítulos, con el capítulo activo marcado con el cursor





**Para cambiar el capítulo activo:** Presione el botón repetidas veces hasta que el título del capítulo deseado se encuentre en línea con el cursor.

**Para entrar en el capítulo activo:** Presione el botón . Se mostrará una lista de páginas, siendo la página activa la marcada con el cursor . Presione el botón para volver al listado de capítulos.





**Para cambiar la página activa:** Presione el botón repetidas veces hasta que el título de la página deseada se encuentre en línea con el cursor.

**Para entrar en la página activa:** Presione el botón . Se mostrará un listado de parámetros y valores actuales, siendo el parámetro activo el marcado con el cursor . Presione el botón  para volver al listado de páginas.

**Para cambiar el parámetro activo:** Presione el botón  repetidas veces hasta que el parámetro deseado se encuentre sobre el cursor .

**Para editar un valor numérico:** Presione el botón . El valor a editar comenzará a parpadear. Utilice los botones  y  para realizar los ajustes. Pulse nuevamente el botón  para guardar el nuevo valor.

**Para resetear un valor de memoria:** Pulse el botón .

**Para seleccionar un parámetro de una lista de opciones:** Pulse el botón . La opción de parámetro comenzará a parpadear. Utilice los botones  y  para seleccionar una opción. Pulse nuevamente el botón  para guardar el nuevo parámetro.

**Para conmutar entre los parámetros ON/OFF:** Presione el botón .

## Solución de problemas

### Suena la alarma de pérdida de red



Comprobar que la pantalla principal está funcionando correctamente y que las pantallas afectadas están dentro del alcance.

### Suena la alarma de voltaje nulo



Comprobar que el transmisor sin cables (NMEA) está conectado a una toma de corriente de 9 a 30V DC.

### Suena la alarma de batería baja



Ir a Setup/Health (o Configuración/Health) y comprobar el nivel de batería del transmisor sin cables (NMEA) y del transmisor de datos de viento, tal y como indica la pantalla de alarma. Cambiar o situar bajo la luz del Sol si es necesario

### Suena la alarma de Ahorro de Energía




No hay transmisión de datos en la red, el sistema se cerrará para ahorrar energía. Presionar cualquier botón para cancelar.

## Caratteristiche dei Display






## Accensione e spegnimento

Per accendere il sistema Micronet, scegliere uno strumento qualsiasi e premere il tasto  per due secondi.





## Retroilluminazione

Premere e tenere premuto il tasto  per due secondi durante il funzionamento dello strumento per accedere al controllo dell'illuminazione. Premendo i tasti  e  si alternano le impostazioni OFF, 1, 2, 3 e si modifica l'illuminazione. Per risparmiare energia l'illuminazione può essere impostata per essere in uso su tutta la rete o sui singoli strumenti.



## Gestione energetica e carica della batteria

Il livello di carica della batteria è indicato da due simboli: livello della batteria  e carica della batteria .



*Nota: Se la batteria interna è carica completamente, l'indicatore dello stato di carica resterà basso.*

Non è possibile ricaricare la batteria usando la luce artificiale. Se si colloca lo strumento Micronet vicino alla luce artificiale, si corre il rischio di danneggiarlo gravemente. Ricaricarlo solo alla luce del sole.

Se prevedete di non utilizzare gli strumenti per molto tempo, assicuratevi che le batterie siano completamente cariche prima di riposare gli strumenti.

## Pocket Mode

Quando è attivata la modalità Pocket (vedere pagina 28 S35) il Remote display Spegne lo schermo dopo tempo di attesa configurato dall'utente. Premendo qualsiasi tasto si riporta il display alle condizioni iniziali.

## Informazioni Visualizzazione Dati

Le schermate di visualizzazione dei dati sono organizzati in Quattro capitoli ognuno dei quali contiene le pagine con i relativi dati.

Il tasto  consente di scorrere i capitoli.

I tasti  e  permettono di scorrere avanti e indietro tra le pagine.

Quando si seleziona un nuovo capitolo, viene visualizzato l'ultimo dato selezionato per quel capitolo.

Pagine posso essere nascoste per configurare il display secondo le tue estese necessità. Fare riferimento alla manuale completo per i dettagli.

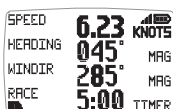
### Capitolo visualizzazione riga singola



Otto pagine, ognuna visualizza una singola informazione.

Le informazioni da visualizzare in ogni pagina possono essere selezionate nel setup.

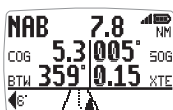
### Capitolo visualizzazione a quattro righe



Quattro pagine, ognuna visualizza quattro informazioni.

Le informazioni da visualizzare in ogni pagina possono essere selezionate nel setup.

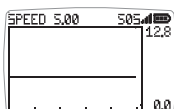
### Capitolo visualizzazione autostrada



Una pagina che mostra: Nome Waypoint, distanza al waypoint, rota rispetto al fondo (COG), velocità rispetto al fondo (SOG), direzione al waypoint, errore di fuori rotta e angolo di virata.

La visualizzazione autostrada mostra la rota dell'imbarcazione in relazione alla rota diretta tra il waypoint precedente e quello successivo e la direzione di virata per tornare sulla rota diretta.





### Capitolo visualizzazione grafico



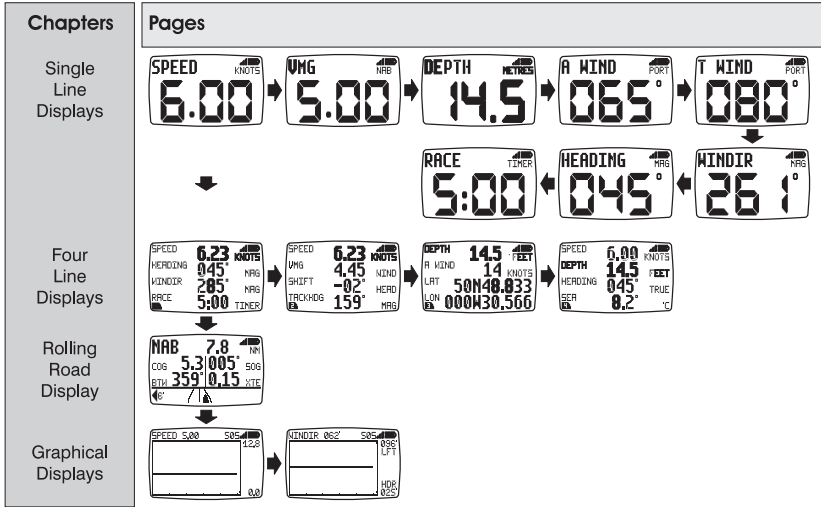
Due pagine, ognuna visualizza un grafico di un'informazione selezionata dall'utilizzatore rispetto al tempo.

*Per il grafico della direzione del vento, le scritte LFT e HDR indicano il cambiamento e la tendenza del segmento sul grafico.*

#### Per modificare il tempo base sul grafico:

Premere il pulsante  mentre è visualizzato il. Apparirà sulla parte superiore della pagina il messaggio "CHANGE TIME". Usare i pulsanti  e  per modificare il tempo. Premere  di nuovo per confermare la selezione.

## Visualizzazione del grafico standard



## Funzione telecomando

Con questa funzione, il Remote Display può controllare le funzioni di altri display nelle rete Micronet.

Tutte le schermate delle funzioni telecomando sono visualizzate in modalità schermo "reverse", con il testo chiaro su sfondo scuro, per permettere di conoscere immediatamente in che funzione ci troviamo.

La funzione telecomando si disabilita automaticamente trascorso un periodo di inutilizzo di 30 secondi ovvero senza che venga premuto alcun tasto. Il remote torna automaticamente alla visualizzazione standard.

### Per accedere alla funzione telecomando:

Premere e tenere premuto il pulsante **remote**.



Il Remote Display genera una lista di display Micronet presenti nella rete che sono compatibili con la funzione di comando a distanza. Questa lista permette di selezionare il display da controllare con il Remote Display. Il display selezionato per il controllo è indicato dai simboli ➡ e ⬅ attorno al display identificato.

Lo schermo del display selezionato lampeggerà per indicare che è sotto il controllo del telecomando.






I display della rete possono essere aggiunti o rimossi dalla lista che può essere modificata dal set-up.

### Selezionare un display differente da controllare:




Premere ripetutamente il tasto **remote** fino a che il display voluto non è selezionato.

Lo schermo del nuovo display selezionato lampeggerà per indicare che è sotto controllo del telecomando.

### Agire sul display selezionato:

Premendo i tasti , ,  o  sul Remote Display si hanno le stesse funzioni che premendo gli stessi pulsanti sul display che state controllando. Per esempio, premendo il tasto  potremo scorrere i capitoli.

L'elenco completo delle operazioni e delle funzioni di configurazione sul display controllato è disponibile premendo un tasto sul Remote Display.

Nota: La prima pressione dei tasti , ,  o  sul remote display fa sì che lo schermo del display controllato smetta di lampeggiare ma il display rimane comunque sotto l'azione del telecomando fino a che non venga abbandonata la funzione sul Remote Display.



### Uscire dalla funzione telecomando:

Premere e tenere premuto il pulsante **remote**. Il Remote Display ritornerà alla modalità visualizzazione.

Se dovesse trascorrere un periodo di trenta secondi senza che nessun tasto venga premuto, la funzione telecomando viene automaticamente spenta e il Remote Display ritorna alla visualizzazione dati.

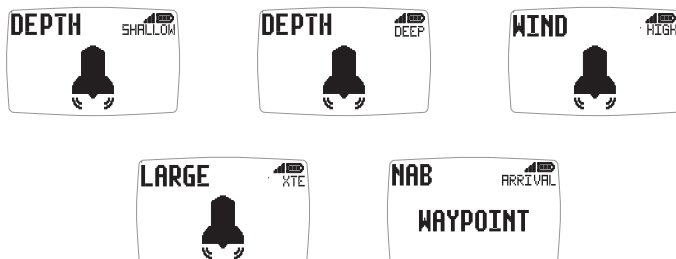
## Blocco Tasti

La funzione blocco tasti può essere abilitata o disabilitata dal setup per evitare pressioni accidentali dei tasti.

Una volta che il blocco tasti è attivato premendo un qualsiasi tasto comparirà la scritta che indica che la tastiera è protetta. Premere  seguito da  per sbloccare i tasti (questo permetterà ai tasti di funzionare per un minuto, dopo di che i tasti si ribloccheranno automaticamente).

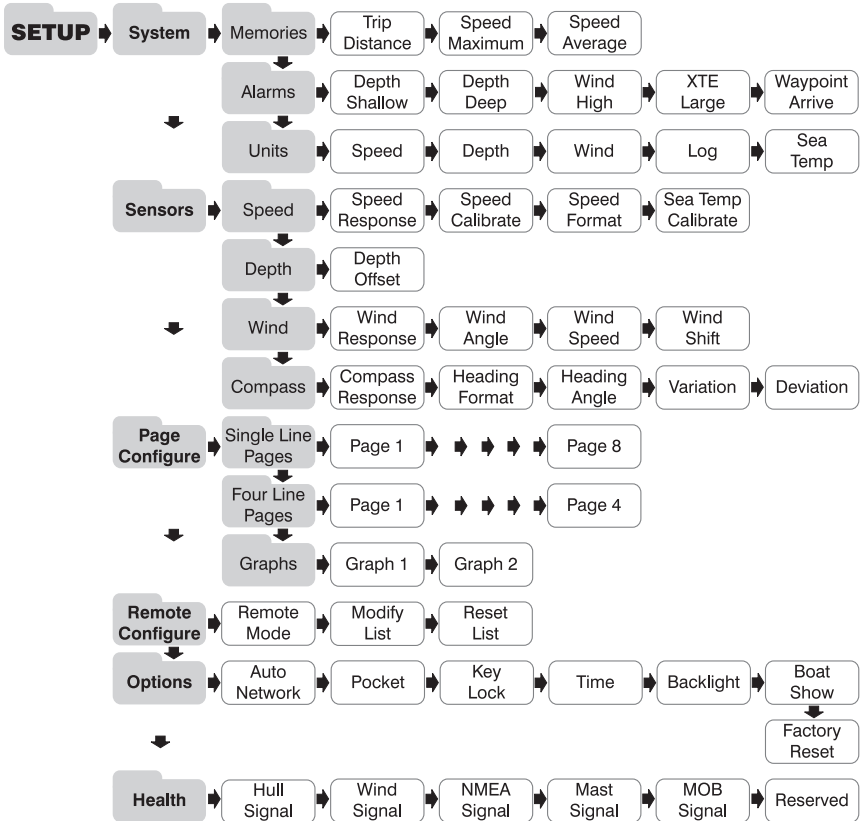
## Allarmi



Sullo strumento possono essere impostati alcuni allarmi. Vedere pagina 5.










## Configurazione e calibrazione






**Per accedere al menu di configurazione e calibrazione:** Premere e tenere premuto il tasto  per due secondi. Viene visualizzata una lista di capitoli e quello attivo è contrassegnato con il simbolo .





**Cambiare il capitolo attivo:** Premere il tasto  fino a che il capitolo desiderato è sulla riga del cursore.


**Entrare nel capitolo attivo:** Premere il tasto  Viene visualizzata una lista di pagine con la pagina attiva contrassegnata dal simbolo . Premere il tasto  per tornare alla lista dei capitoli.

**Cambiare la pagina attiva:** Premere il tasto  fino a che la pagina desiderata è sulla riga del cursore.

**Entrare nella pagina attiva:** Premere il tasto  Viene visualizzata una lista di parametri e impostazioni e quella attiva è contrassegnata con il simbolo . Premere il tasto  per tornare alla lista delle pagine.

**Cambiare un parametro attivo:** Premere il tasto  fino a che il parametro desiderato è sulla riga del cursore .

**Impostare un valore numerico:** Premere il tasto  Il valore comincia a lampeggiare. Usare i tasti  e  Per impostare il valore. Premere il tasto  per salvare il nuovo valore.

**Azzerare un valore in memoria:** Premere il tasto  Il valore viene azzerato.

**Selezionare un' opzione da una lista:** Premere il tasto  L'opzione comincia a lampeggiare. Usare i tasti  e  per selezionare l'opzione richiesta. Premere il tasto  per salvare la nuova opzione.

**Scegliere un parametro ON/OFF:** Premere il tasto  Scegliere l'impostazione tra ON e OFF.

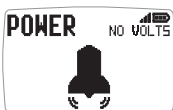
## Problemi

### Allarme LOST NETWORK (Perdita di rete)



Controllare che il display master stia funzionando correttamente, che gli altri display siano nel raggio d'azione.

### Allarme Power No Volts



Controllare che la centralina interna e l'interfaccia wireless siano collegate ad un'alimentazione da 9 a 30V.

### Allarme LOW BATTERY (Batteria scarica)



Andare nel menu setup al capitolo Health e controllare il livello di carica della batteria della centralina interna, dell'interfaccia wireless o del Wind Transmitter come indicato sul display. Ricaricare o posizionare alla luce del sole se necessario.

### Allarme POWER SAVE (Risparmio energetico)

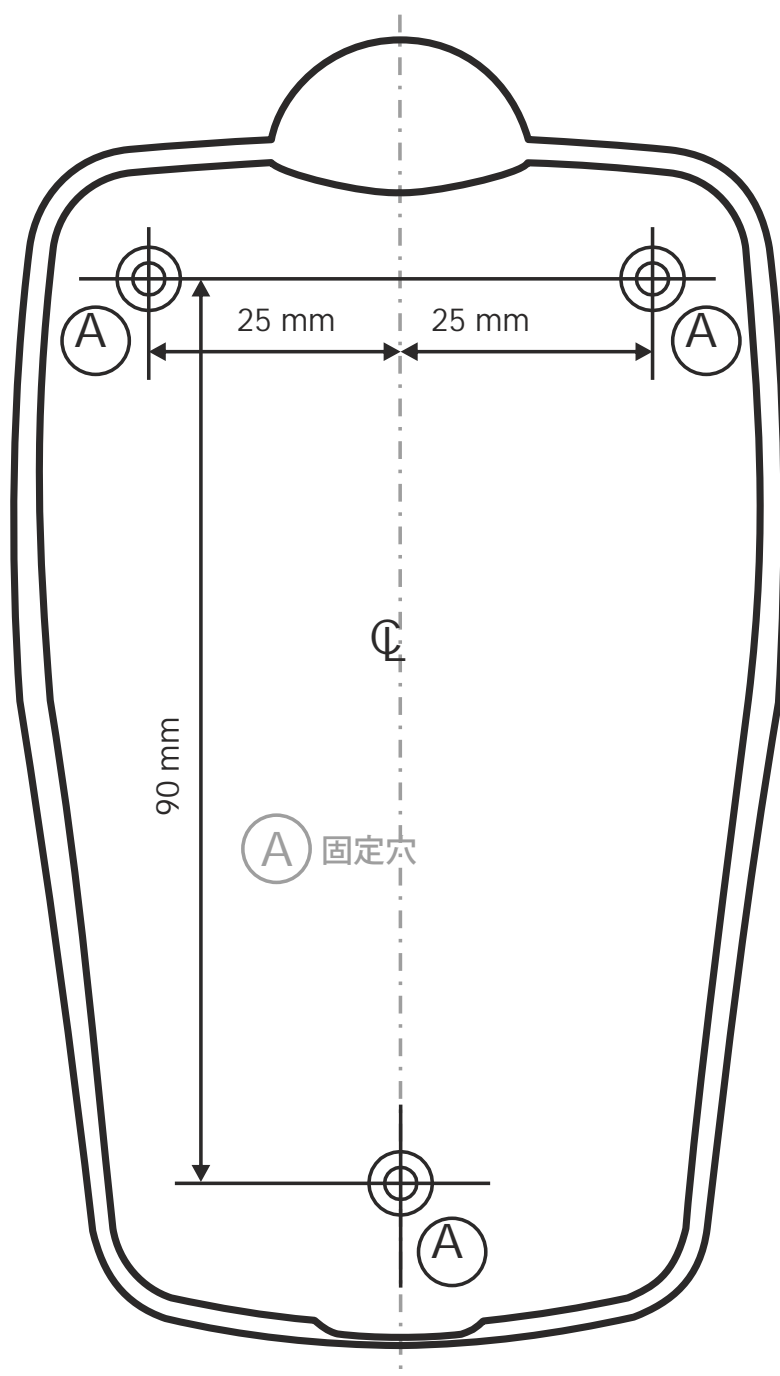


In caso di inattività delle informazioni sulla rete gli strumenti si spegneranno automaticamente per risparmiare energia. Premere qualsiasi pulsante per evitare lo spegnimento.



## インストールテンプレート

### リモートクレードル





UU075- r ev 02